



季節外れの暑さが続き、夏に流行する感染症が例年より早く流行し始めているようです。尼崎市内でも、5月の後半から、プール熱（咽頭結膜熱）や手足口病での受診が増えているようです（尼崎市医師会ホームページより）。また、今年は全国的にも溶連菌感染症、りんご病（伝染性紅斑）、手足口病が例年に比べ多いです（国立感染症研究所ホームページより）。

どの感染症も、予防は基本の手洗い・うがいです。気温や湿度の変化で、体調をくずしやすい時期ですので、ご家庭でも規則正しい生活とこまめな手洗い・うがいで感染症を予防しましょう。また、せきなどのかぜの症状がある場合は、マスクをつけましょう。

ようれんきんかんせんしょう 溶連菌感染症

潜伏期間…2～7日

感染経路…飛沫感染（せきなどのしぶきでうつる）

出席停止期間…医師が感染のおそれがないと認めるまで

主な症状

- 溶連菌という細菌がのどに感染する。
- のどの痛み・38～39℃の高熱・おう吐・腹痛・頭痛を起こすことがある。
- 体や手足に発疹が出はじめ、舌はイチゴのようにブツブツになる。
- 菌の除去が不十分であると、重大な合併症（リウマチ熱や急性糸球体腎炎）を引き起こすことがあるため、医師の指示通りの期間、薬を服用する。



おつ いんどうけつまくおつ プール熱（咽頭結膜熱）

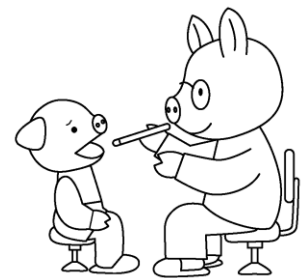
潜伏期間…1週間前後

感染経路…飛沫感染（せきなどのしぶきでうつる）、接触感染（結膜炎を起こしている目を触ることです）

出席停止期間…主な症状が消えてから、2日を経過するまで

主な症状

- アデノウイルスに感染することで起こる。
- 39℃前後の高熱・強いのどの痛み・目やにや目の充血が起こる。耳のまわりや首のリンパ節が腫れる。
- 頭痛・吐き気・腹痛・下痢を伴うことがある。



でんせんせいこうはん りんご病（伝染性紅斑）

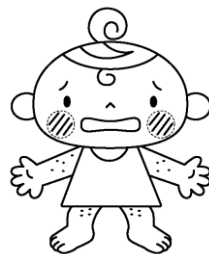
潜伏期間…1～2週間

感染経路…飛沫感染（せきなどのしぶきでうつる）

出席停止期間…医師が感染のおそれがないと認めるまで

主な症状

- 前駆症状（ほほが赤くなる前に出る症状）としてかぜの症状が現れる。このときに、他の人に感染させることがある。
- 両ほほ、うで、あし（太もも）、おなかと背中、の順番で発疹が出る。発疹は、ほてりやかゆみ、痛みがあることがある。
- 発疹が出てからは、感染力はないと考えられている。
- 妊婦への感染に注意が必要である。



手足口病

潜伏期間…3～6日

感染経路…飛沫感染（せきなどのしぶきでうつる）、排泄された便から感染することもある

出席停止期間…医師が感染のおそれがないと認めるまで

主な症状

- ウイルスに感染することで起こる。
- くちびるやほほの内側に痛みのあるプツプツができる。
- 指や手の平、足の裏、おしりに米粒大の水ぶくれが出るが、痛みはない。
- 発熱は、あっても微熱程度にとどまる。
- 1週間ほどで自然に治る。